

公益財団法人 川崎市文化財団 情報誌 ● かわさき・アートニュース

KAWASAKI ART NEWS

2017.1

Vol.247



THE KAWASAKI FOUNDATION

CONTENTS [目次]

02 特集

ラゾーナ川崎プラザソル開館10周年記念公演
ハムレット

04 音楽

ミュージア川崎
シンフォニーホール

07 歴史・文化

東海道かわさき宿交流館

10 美術

市内ギャラリー情報

13 演劇

アルテリオ小劇場

14 映画

アルテリオ映像館

ラゾーナ川崎プラザソル開館10周年記念公演

ハムレット

作：ウィリアム・シェイクスピア 翻訳：松岡和子 演出：西沢栄治

2017.1.25 [wed] - 2.1 [wed]

ラゾーナ川崎プラザソル



2016年、開館10周年をむかえたラゾーナ川崎プラザソル。毎年、周年記念に演劇公演を自主企画してきました。2015年はシェイクスピアの「マクベス」を上演。空間と肉体を最大限に活かした力強く斬新な舞台は観客から好評を博し、最終日には満席で入場することができないほどの大盛況となりました。

今回は、シェイクスピアの「ハムレット」を上演します。新国立劇場演劇研修所修了生を主体とした若く勢いのある俳優陣と、前回「マクベス」を作り上げた演出家・西沢栄治さんによる新しい「ハムレット」に期待が高まります。

演出を務める西沢栄治さんと、前回に続き主演を務める梶原航さんにお話を伺いました。

役はこの先、一生ないと思います。ハムレットが一番多いんじゃないかな。

西沢：一人で喋りすぎだよ。すぐ「自分はダメだ」と自省するし、独白のシーンが何回もある。

梶原：ハムレットは、今の自分や状況をすごく見るんですよ。役を頂く前、僕はハムレットに対して、優柔不断な、行動しない人物というイメージを持っていました。でも、本を読み直してみると、実はすごく行動している。色んな人間がハムレットに会いにくるんですけども、その都度考えながら行動に移しているんです。そういう行動的なハムレットを浮かび上がらせていきたいという気持ちはあります。



スポーツに負けない熱狂

——観客にこの芝居のどんどころを観てほしいですか？

西沢：もちろん戯曲は素晴らしいんですけど、「シェイクスピア様の、あの偉大なハムレットの物語！」と有り難がるのではなく、エンターテインメントにしたいなと思います。当時からそうだったと思いますが、芸能なので、あまり芸術にしたいくないですね。

そして、とにかく役者を見てほしいです。僕ね、スポーツに負けたくないんですよ(笑)。サッカーのパスワークを見て、観客が歓声をあげますね。コンサートでも、すごいギターソロを聞いて観客が湧くじゃないですか。同じように、役者ってカッコいいな、すごいなって思われたいんです。「この台詞をそういう風に演じるのか！」みたいに、役者たちの華麗なるプレイを堪能していただきたいですね。

梶原：そうですね、話芸でもありますね。僕はシェイクスピアをやるとき、なぜかボクシングの動画をよく見るんですよ。ボクサーは、瞬時の判断で見抜いてパンチを出し、眼力もすごい。ラッシュ(猛然と攻撃すること)は見ていて興奮します。演劇に置き換えると、台詞がパンチで、独白はきつとラッシュなんですよ。だから、ラッシュがつまらないと負け戦になってしまうと思っています。

お客さんに魅力を

——シェイクスピアの魅力についてお聞かせください。

梶原：シェイクスピアって不思議ですよ。実は、最初はあまり興味がなかったんですよ。でも、一度演じると、また次をやりたいくなる。シェイクスピアにしかない魅力があって、自分が演じて体験していることを、お客さんにも同じように、いや、それ以上に体験してほしいんです。気持ち重視の芝居とはまた別に、この物語を伝えたいと思います。

西沢：登場人物の背景や感情はもちろんあるんですけど、それだけに囚われると、芝居が弾まないし、つまらなくなってしまいます。

シェイクスピアはすごいですけど、やっぱり現場の座付作家(※)なので、辻褄の合わないこともたくさんあるし、ご都合主義なんか山ほど出てきますよ。シリアスなシーンなのに、急に王様を褒めるようなエピソードが入ってくるし、「急に出て来たこの役は、スポンサーの社長だな」とかね。そういう意味じゃ、駄目なところがいっぱいあります(笑)。ただ、やっぱりそこに世界があって、人間があるから挑みたくなくなるんでしょうね。

疾走感あふれる舞台

——「ハムレット」はどんな舞台になりそうですか？

西沢：ハムレットは、ただ悲惨な話ではなくて、笑えるシーンもいっぱいありますし、アクションや劇中劇も入ってきますの

疾走する若き俳優たち

ラゾーナ川崎プラザソル
開館10周年記念公演

「ハムレット」

対談

西沢栄治(演出家) × 梶原航(俳優)

自分は一体何者なのか

——今回上演する「ハムレット」という作品についてお聞かせください。

西沢：ハムレットは、シェイクスピア作品の中で最も長く、台本は4000行を超えます。そのまま上演すると、4~5時間はかかる大作です。誰もがやりたがるし、通過しなくてはならない作品でもあります。四大悲劇の一つですから、物語だけで言えば救いようがありません。でも今回は、ただ悲しい辛い物語ではなく、もう少し違う形で出せたらと思います。

冒頭、『Who's there? (そこにいるのは誰だ)』という台詞で始まるのですが、「自分は一体何者なのか」ということが、この芝居全体を通じたテーマです。

現代社会は、価値観が多様化・流動化し、情勢も不安定。これから世界はどうなって、その中で自分はどう生きていくのか——という不安を誰もが抱えている。でも、それは今に始まったことではなく、400年前の人たちも同じことを考えていたわけ。「かつて同じ悩みを抱えていた人間がいて、その彼はその時どうやって生きたのか」ということを表すのが、芝居だと思います。結局そこに明確な答えはないんですけどね。でも、優れた芝居は、優れた疑問符、問いかけであっていいと思います。

行動的なハムレット

——梶原さんはハムレット役を演じるにあたり、今どんなお気持ちですか？

梶原：大変だなというのが一番ですね。こんなに台詞量のある



で、見どころが沢山あります。

「シェイクスピアの四大悲劇で、デンマーク王子の苦悩と狂気の復讐劇」ではなくて、「若い役者たちが疾走する、サッカーとボクシングを混ぜたようなスポーツ」です(笑)。

梶原：前回の「マクベス」の時は凄かったですよ。舞台上で喋りっぱなし、走りっぱなしの状態だったので、スタミナが切れないように、舞台袖に栄養補給ゼリーを置きながら演じました。マクベス役は出ずっぱりなので、一瞬はけた時にパツと飲んで出ていく。あんな体験は初めてでした。

西沢：そうかぁ。もっと大変だよ、今回は(笑)。

梶原：前回の経験で役者としてのスタミナがついたので、頑張ります(笑)。

スピードで表現する欲望

——今回、再び共演されることに対してはいかがですか？

梶原：とにかく西沢さんはテンポが速いです。去年マクベスで共演した時、稽古中に西沢さんから「もっと速く！もっと速く！」という言葉をいただいていた。千秋楽に近づいたとき、現代人では持っていない欲望の強さや欲求の大きさが、演技のスピードや力強さにつながっているんだと、気づきました。僕らは、明治・大正・昭和に比べて、欲望の薄いインスタントな時代に生きていますので、100年以上続いている名作古典から人間の欲望をしっかりと見つけて、西沢さんの持っているビジョンに向かって一緒に走っていききたいなと思います。



2015「マクベス」より

西沢：うむ。(一同笑)梶は難しい、ちまちましたことを考えないところが良いですね。役者はみんな深めたがりですから、考え込む。もちろん、考えなきゃ駄目なんですけど、梶はあまり考えずに、とにかくやる、走る、喋る。そういうトライをしてくれる奴が今回も中心にいて、先頭で突っ走ってもらえればなと思います。

若い世代に贈る

——最後に、観客へのメッセージをお願いします。

梶原：今までシェイクスピアに「古典」というしゃほこぼったイメージを持っていらしたら、それは払拭します。西沢さんの作るシェイクスピアは、正に王道で、そしてわかりやすい。初めて観るお客さんには、「シェイクスピアっていうのは、こういうことなんだ」と楽しんでいただき、慣れているお客さんには新鮮さを届けたいと思います。

西沢：役者たちと同空間に、お客さんもいてほしいですね。一緒にハムレットの人生を目撃し、その世界に参加していただきたいなと思います。

もちろん、いろんな方に観てもらいたいんですけど、特に若い子に観てほしいですね。生き辛いと思っていたり、この世の中に違和感を持っていたりする子たちに、「400年前も、今の君と同じように悩んでいた青年がいるぜ。君の今抱えている問題や悩みは君だけのものじゃないよ。明日からも生きていこう」と伝えたい。

疾走する、若いハムレットになると思っていますので、楽しみにしててください。サッカーとロックに勝ちますよ。

※シェイクスピアは1592年頃までにロンドンへ進出し、エリザベス朝演劇の興隆の中で、俳優兼座付き作家となった。また、宮内大臣がパトロンとなっていた一座の共同所有者でもあった。

公演情報

Information

ラゾーナ川崎プラザソル 開館10周年記念公演 「ハムレット」



作 ● ウィリアム・シェイクスピア

翻訳 ● 松岡和子

演出 ● 西沢栄治

キャスト ● 梶原 航 / 逢沢 凜 /

チョウヨンホ /

岡野真那美 /

大高雄一郎 / 坂川慶成 /

大里秀一郎 / 木村圭吾 / 日下 諭 / 川口高志 /

豊田 豪 / 高山 高 / 熊手竜久馬 / ジリ・ヴァンソン

公演日程：2017.1.25 [水] - 2.1 [水]

	25	26	27	28	29	30	31	1
	[水]	[木]	[金]	[土]	[日]	[月]	[火]	[水]
13:00				●			●	
14:00					●			●
19:00	●	●	●	●		●	●	

会場：ラゾーナ川崎プラザソル

【チケット料金】

一般4,000円 / 川崎市民割引3,800円 /

25歳以下2,500円(未就学児不可)

【チケット取扱】

カンフェティ 一般 <http://www.confetti-web.com/>

ラゾーナ川崎プラザソル 一般 25歳以下 川崎市民

チケット窓口(10:00~20:00)

電話予約 044-874-8501

オンライン予約 <http://hamlet-plazasol.jimdo.com/>



プロフィール

Profile

西沢 栄治 [Eiji Nishizawa]

2000年よりプロデュース形式のJAM SESSIONにて演出をはじめ。シェイクスピアや歌舞伎などの古典から現代戯曲まで、演劇の面白さをまっすぐ描く心意気で活動中。

日本演出者協会・若手演出家コンクール2003最優秀賞受賞。

これまでの作品に、「夏の夜の夢」「ヴェローナの二紳士」「わが町」「女の平和」「天保十二年のシェイクスピア」「阿部定の犬」「牡丹灯籠」などがある。



梶原 航 [Wataru Kajiwara]

ジンギーザップエンタープライズ所属。新国立劇場演劇研修所第5期修了。修了後は、同劇場の主催公演「リチャード三世」(2012)、「長い墓標の列」(2013)、「マニラ瑞穂記」(2014)に出演。この他にもワンツーフークス「海のてっぺん」、KAAT「アドルフに告ぐ」、KAWAI Project「ましがいの喜劇」などの話題作に出演。また、自ら主宰として、



次世代の俳優を集め、国内外の優れた戯曲に真っ直ぐ取り組み、「対話と行動」の可能性について再考、再生するプロジェクト「ACT Commune 航跡」を立ち上げ、これまでに「セイム・タイム・ネクストイヤー」「クラブの最後のテーブル」を企画上演した。2015年秋、ラゾーナ川崎プラザソル開館9周年公演「マクベス」主演。本プロジェクト発案者のひとりである。

ミュージア川崎シンフォニーホールのお薦め公演

お申込み・お問合せ◎ミュージア川崎シンフォニーホール ☎044-520-0200(10:00~18:00)

12/29(木)~1/3(火)は休業



東京交響楽団室内合奏団

MUZAニューイヤーコンサート2017

2017年のニューイヤーコンサートでは、スペイン、フィレンツェ(イタリア)、プエノスアイレス(アルゼンチン)と、ラテンの空気漂うあたたかなお正月をお届けします。

2017年1月3日(火) 14:00開演(13:30開場) 全席指定3,500円

出演

ヴァイオリン: グレブ・ニキティン(東京交響楽団コンサートマスター)
弦楽合奏: 東京交響楽団室内合奏団

プログラム

エルガー: 組曲「スペインの貴婦人」(パーシー・ヤング編纂・編曲)
ピアソラ: プエノスアイレスの四季(弦楽合奏版)
チャイコフスキー: フィレンツェの思い出



グレブ・ニキティン



三原麻里



森本麻衣

MUZA ランチタイム コンサート

ベルギー&フランスのオルガン音楽旅行

2017年1月12日(木) 12:10開演(11:30開場) 全席自由500円

出演

パイプオルガン: 三原麻里(MUZAソリストオーディション2014合格者) ピアノ: 森本麻衣

プログラム

フランク: 前奏曲、フーガとヴァリエーション ロ短調Op.18
ドビュッシー: アラベスク 第1番(ピアノソロ)
ジョンゲン: トッカータ Op.104(オルガンソロ)
ジョンゲン: オルガンと管弦楽のための協奏的交響曲より
第2楽章(ピアノ伴奏版)(編曲: 面川倫一) ほか

※終演後、出演者によるトーク会を開催! 2月4日「名曲全集第124回」で演奏するジョンゲンの作品の面白さを語ります。

13:00~13:30/定員なし/事前申込み不要

ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第124回

アジアを代表する女流指揮者&若手オルガン奏者による共演。サー・ゲオルグ・ショルティ国際指揮者コンクール優勝のシーヨン・ソンが東響に初登場!

2017年2月4日(土) 14:00開演(13:30開場)

S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円

出演

指揮: シーヨン・ソン(韓国初の女性音楽監督)
オルガン: 三原麻里(※MUZAソリストオーディション2014合格者) 管弦楽: 東京交響楽団

プログラム

J.S.バッハ(L.カリエ編): 小フーガ ト短調(オーケストラバージョン)
ジョンゲン: オルガンと管弦楽のための協奏的交響曲
ムソルグスキー/ラヴェル: 組曲「展覧会の絵」

※MUZAソリストオーディションは、若手演奏家に協奏曲演奏の機会を提供し、演奏家としてのレベルの向上、ひいては日本全体の音楽家のレベルの底上げを目的に行っています。



シーヨン・ソン©Jens Rotzsch



三原麻里



東京交響楽団

2017年~2018年シーズン

モーツァルト・マチネ チケット発売開始!

休日の朝に聴いてほしい音楽がある。
オーケストラと過ごす、特別な1時間。

各回**11:00開演(10:30開場)***休憩なし

管弦楽:東京交響楽団

【チケット料金】各1回券/全席指定3,500円 学生券/全席指定1,000円 4回セット券/全席指定11,000円

東京交響楽団

【チケット発売日】一般2017年1/24(火)/Web会員先行2017年1/17(火)/友の会2017年1/14(土)



飯森範親

第29回 | 2017年4月30日(日)

モーツァルト×疑惑。

モーツァルトの真作・偽作を織り交ぜたプログラム。どれが真作でどれが偽作か……、その音楽に違いはあるのでしょうか。音楽の聴き分けに、あなたも挑戦してみませんか?

指揮:飯森範親

オール・モーツァルト?・プログラム

交響曲第43番 へ長調 K.76/42a
バレエ音楽《レ・プティ・リアン》K.Anh.10(299b)
交響曲第6番 へ長調 K.43



小菅 優@Marco Borggreve

第30回 | 2017年8月26日(土)

モーツァルト×ピアニストの挑戦。

世界的ピアニストがその弾き振りを本邦初披露。その挑戦に、ソリストとしての姿とは違う新しい一面が垣間見えます。

ピアノ(指揮なし):小菅 優

オール・モーツァルト・プログラム

ピアノ協奏曲 第12番 イ長調 K.414(385p)
ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調 K.271「ジュノム」



ジョナサン・ノット

イェンス＝ペーター・マインツ
©Erunau Musik Management

第31回 | 2017年10月14日(土)

モーツァルト×友情。

親子ほども年齢に差がありながら互いに影響しあい、信頼しあっていたモーツァルトとハイドン。長い音楽史でも類を見ない友人関係にあった二人の代表作を味わってみませんか?

指揮:ジョナサン・ノット

チェロ:イェンス＝ペーター・マインツ

プログラム

ハイドン:チェロ協奏曲第1番 ハ長調 Hob.VII b:1
モーツァルト:交響曲第39番 変ホ長調 K.543



秋山和慶



妻屋秀和

第32回 | 2018年3月3日(土)

モーツァルト×歌。

太陽への挨拶を歌い、力強い朝を讃える合唱は、朝にぴったり。懐の深いバスの歌声に背中を押されながら、休日のひとときをお過ごしください。

指揮:秋山和慶

バス:妻屋秀和 合唱:東響コーラス

オール・モーツァルト・プログラム

歌劇『皇帝ティトの慈悲』序曲 K.621
『エジプト王ターモス』のための3つの合唱と5つの幕間音楽 K.345(336a)

お一人でじっくりと? ご家族やお友達と楽しく?
モーツァルトの音楽とともに始まる、新しい休日をお過ごしください。

主催公演
3 火
14:00

MUZA ニューイヤーコンサート 2017

ヴァイオリン:グレブ・ニキティン 弦楽合奏:東京交響楽団室内合奏団
エルガー:組曲「スペインの貴婦人」(パーシー・ヤング編纂・編曲) / ピアソラ:ブエノスアイレスの四季 / チャイコフスキー:フィレンツェの思い出

7 土
18:00

神奈川県立鶴見高校吹奏楽部 創部60周年 記念演奏会

お問合せ:090-8010-0821(久保寺)

出演:神奈川県立鶴見高校吹奏楽部、神奈川県立鶴見高校OB吹奏楽団
祝典序曲 / グローヴァルヴァリエーション / ローマの松 ほか

8 日
18:00

東京ユヴェントス・フィルハーモニー 第14回 定期演奏会

お問合せ:070-5587-0136(村松)

指揮:坂入健司郎 合唱:オルフ祝祭合唱団(合唱指揮:谷本喜基) 児童合唱:中央区・プリエールジュニアコーラス(合唱指揮:古橋富士雄) ほか
ブラームス:アヴェ・マリア Op.12 一女声合唱と管弦楽のための一 / ヴォルフ:妖精の歌一女声合唱と管弦楽のための一 / マラー:交響曲第3番 二短調

9 月・祝
13:30

ミュゼ川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2016後期
「ウイナワルツ」ウーン交響楽団 ヨハン・シュトラウス・アンサンブル

お問合せ:神奈川芸術協会
045-453-5080

指揮&ヴァイオリン:アントン・ソロコフ ソプラノ:クラウディア・ゲーベル
フランツ・レハール:喜歌劇「メリー・ウイドウ」より「ヴェリアの歌」 / サラサーテ:ツィゴネルワイゼン / J.シュトラウスII:ワルツ「美しく青きドナウ」 ほか

主催公演
12 木
12:10

MUZAランチタイムコンサート1月
ベルギー&フランスのオルガン音楽旅行

13:00~13:30

終演後、出演者によるトーク会を開催!
ぜひご参加ください。(定員無し・事前申込不要)

パイプオルガン:三原麻里 ピアノ:森本麻衣
フランク:前奏曲、フーガとヴァリエーション 短調 Op.18 / ドビュッシー:アラベスク第1番(ピアノソロ) / ジョンゲン:協奏交響曲より第2楽章 ほか

14 土
14:00

Musikfreunde “燦” 第1回 演奏会

お問合せ:080-5095-8147(内海)

指揮:川合良一 ソプラノ:椎屋 瞳 アルト:向野由美子 テノール:高島伸吾 バス:太田直樹
ベートーヴェン:フィデリオ 作品72 / ベートーヴェン:交響曲第9番 二短調作品125

15 日
13:00

第13回 子どもの音楽の祭典

お問合せ:川崎市教育委員会事務局学校教育部指導課
「子どもの音楽の祭典事務局」044-200-3737

指揮:小林恵子 吹奏楽:ヤングかわさきジョイフルバンド クラリネット:粟生田直樹
小林俊三作詞・高階哲夫作曲:川崎市歌(合唱付き) / フィリップ・スパーク:オリエント急行 / フランク・ティケリ:クラリネット協奏曲 ほか

17 火
19:00

水戸室内管弦楽団 川崎公演 全席売完

お問合せ:水戸芸術館音楽部門 029-227-8118

指揮:小澤征爾 ヴァイオリン:竹澤恭子 ヴィオラ:川本嘉子
第1部(指揮者なし)モーツァルト:ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲変ホ長調 K.364(320d) / 第2部(指揮:小澤征爾)ベートーヴェン:交響曲第1番ハ長調 作品21

19 木
19:00

チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル

お問合せ:神奈川芸術協会
045-453-5080

ピアノ:チョ・ソンジン
ベルク:ピアノ・ソナタ / シューベルト:ピアノ・ソナタ 第19番 ハ短調 / ショパン:24の前奏曲

21 土
14:00

みずほフィルハーモニー 第31回 定期演奏会

お問合せ:090-9965-9323(齊藤)

指揮:時任康文
シベリウス:交響詩「フィンランディア」 / チャイコフスキー:バレエ「眠れる森の美女」組曲 / シベリウス:交響曲第2番ニ長調

22 日
13:30

東京海上フィルハーモニックオーケストラ<TEMPO>第24回定期演奏会

お問合せ:チケット係
070-4007-8243

指揮:高橋 敦
G.ビゼー:「カルメン」組曲より抜粋 / S.ラフマニノフ:交響曲 第2番ハ短調

主催公演
25 水
14:00

MUZA 音楽サロン 第1回 「星空は語る」

会場:ミュゼ川崎シンフォニーホール4階 市民交流室(限定120席)

プレゼンター:若宮崇令(八ヶ岳総合博物館館長) 演奏:土屋杏子(東京交響楽団ヴァイオリン奏者) ピアノ:正住真智子
ホルスト:組曲「惑星」より「ジュピター」 / リー・ハーライン:星に願いを ほか

28 土
13:00

天野正道 60th アニバーサリー コンサートツアー

お問合せ:演奏会事務局 070-1400-8463

指揮:天野正道、佐川聖二、福本信太郎、加養浩幸、浅田亨 吹奏楽:グラールウインドオーケストラ、浜松交響吹奏楽団、相模原市民吹奏楽団、
土気シビックウインドオーケストラ ユーフォニアム:外園祥一郎 天野正道:[GR]よりシンフォニック・セレクション / 天野正道:3つの印象 / 天野正道:幻影 ほか

29 日
13:30

第16回 NEC チャリティコンサート

お問合せ:株式会社プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

指揮:稲垣征夫 管弦楽:NEC玉川吹奏楽団
鹿野草平:よみがえる大地への前奏曲 / 伊福部昭(和田薫・編):「ゴジラ」テーマ&マーチ / すぎやまこういち(真島俊夫・編):「ドラゴンクエスト」によるコンサート・セレクション ほか





東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



第3回 前座・ニツ目激励 「お昼の落語」

日時:2017年1月18日(水)14時から(13時半開場)

料金:無料

定員:先着80名(自由席)

会場:東海道かわさき宿交流館 4階集会室

出演:金原亭駒六

初音家左吉



写真・資料パネル展

「明治・大正の川崎」

日時:2016年12月17日(土)

～2017年2月12日(日)

※休館12月29日(木)～1月3日(火)

9時から17時まで

会場:東海道かわさき宿交流館

3階企画展示室

料金:無料

市制施行当時の川崎市街
川崎区・大正13年

展示-宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。
旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示-江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示
があります。



かわさきジャズ2016開幕!

11月11日から20日までの10日間にわたって、川崎市内の複数会場で開催された「かわさきジャズ2016」。有料公演12公演のほか、無料公演がプライベート期間から本公演最終日まで34か所で42公演行われ、川崎のまちをつなぎ、市内全域を盛り上げました。

各会場で繰り広げられた白熱のステージの一部をレポートします。

ジャズ・アカデミー

「かわさきジャズ2016」をより楽しんでいただくための講座「ジャズ・アカデミー2016」が全5回にわたって開講されました。



第4回目には、ジャンルを超えて活躍するジャズピアニスト、山下洋輔さんが登場! ジャズの多様性と進化について、ご自身のジャズ遍歴や即興演奏を交えながら解説してくださいました。

南仏の民謡がルーツだという「聖者の行進」から、「枯葉」「A列車で行こう」などスタンダードナンバーのほか、「当日しか出来ない即興“20161025”」を音に読み替えて展開していく即興演奏は圧巻でした。

(10月25日 ミューザ川崎市民交流室)

ジャズステーションin京急川崎

かわさきジャズの地域連携イベントとして、京急川崎駅にて電車車両内をライブ会場に見立てた「ジャズステーション」を開催しました。出演はニューオーリンズスタイルのジャズを演奏するブラック・ボトム・プラス・バンド(通称BBBB)。オリジナルヘッドマークをつけた特別車両には3ステージで約240名のお客様が乗車。BBBBの定番曲「ワッシュイ・ブギ」ではコール・アンド・レスポンスで車両が揺れるほど盛り上がりました。



(11月5日 京急川崎駅大師線ホーム)

かわさきジャズ・ビッグバンド・スペシャルセッション



前半は澁漑とした演奏と予想外のパフォーマンスで客席を魅了した大西学園中・高等学校吹奏楽部と、高校生から社会人、プロまで三世代にわたるメンバーが息のあった演奏とサービス精神あふれるステージで聴かせた横濱音泉倶楽部が出演。そして後半は小曾根真さんが指揮をする音大生の選抜ビッグバンドJFC All Star Big Bandが学生のオリジナル曲でレベルの高いパフォーマンスを魅せてくれました。

(11月12日 昭和音楽大学テアトロ・ジュー・ショウ)

New Age Acoustic Jazz Night +

NHK連続テレビ小説「ファイト」のテーマなどで知られるピアニスト・コンポーザーの榊原大さんと、森田晃平さん(ベース)、斎藤たかしさん(ドラムス)のトリオに今年デビュー25周年の中西圭三さんがゲスト出演し、大ヒット曲「You & I」「Woman」などを熱唱。11日が誕生日だった中西さんにバースデーケーキをプレゼントするサプライズも!最後はアンコールの「スペイン」で情熱的に締めくくりました。(11月13日 新百合21ホール)



Jazz La Cittadella night♪ 10th Anniversary Party

ラッチタデッラで10年間にわたって行われてきたフリーライブイベントの集大成として、これまで出演してきたバンドの中から厳選された5バンド、fox capture plan/CICADA/カールメラ/Sources/BLU-SWINGが出演しました。どれも勢いのあるバンドだけあってフロアの熱気もムンムン!スタンディングで盛り上がりました!



(11月17日 クラブチッタ)

プラチナ・ジャズ・オーケストラ presented by ラスマス・フェイバー

日本のアニメソングの名曲を最先端のヨーロッパ・ジャズでカバーし、世界中のジャズファンからアニメファンまでを虜にしているプラチナ・ジャズ・オーケストラがミューザに登場!耳なじみのある「そばかす」や、「ムーンライト伝説」などがおしゃれなジャズアレンジで奏でられました。後半には、ボーカリストが2階客席まで駆け上がり、歌いながら観客と握手するなど大サービス!アンコールは、スタンディングオベーションとなり、大いに盛り上がりました。



(11月19日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

グランド・フィナーレ ジャズ travels ワールド

10日間のフェスティバルを締めくくる最終公演は、3部構成で多彩なコラボレーションが展開されました。第1部は、バンドネオン奏者の三浦一馬さん率いるバンドネオン五重奏が登場し、オールピアソラのプログラムで観客を沸かせました。第2部は、トルコの世界的ピアニスト、ファジル・サイが登場。素晴らしい音色で、オリジナル曲とクラシックの名曲を独特のジャズアレンジで披露。圧巻の演奏でした。第3部は、ジャズピアニストの山下洋輔さん、ヴァイオリニストの大谷康子さん、ゲストに能楽囃子大倉流大鼓の大倉正之助さんが登場。素晴らしいセッションで会場は熱気に包まれ、「ジャズは橋を架ける」という今年のコンセプトにふさわしいフィナーレとなりました。



(11月20日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

しんゆりシアター「夏の夜の夢」

今秋上演したシェイクスピアの喜劇の傑作「夏の夜の夢」。シェイクスピア没後400年に贈るこの祝祭劇は「愛の回復」をテーマとし、男女の恋愛はもちろん友情の崩壊と仲直りも見どころのひとつ。また決して交じりあうことのない人間の世界と妖精の世界が交差することで登場人物たちはそれぞれ様々な夢に迷い込みますが、実は作品そのものが観客の夢となっているのが本作最大の魅力です。さらに今回はハーブの生演奏が作品を鮮やかに彩りました。劇場は毎公演笑い声に包まれ、舞台とお客様が一体となり喜びに満ちた空間となりました。



(10月15日から23日 アルテリオ小劇場)

撮影:関口淳吉

アートガーデンかわさき



貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーパーク3F
TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817
<http://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩2分・京急川崎駅より徒歩2分



ミュージア川崎シンフォニーホール

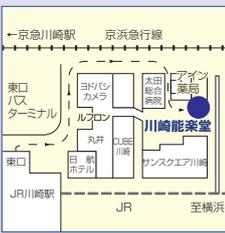


貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分



川崎能楽堂



貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995
<http://www.kbz.or.jp/facility/noh/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩5分



東海道かわさき宿交流館



貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>
【アクセス】京急川崎駅より徒歩4分、JR川崎駅東口より徒歩9分



ラゾーナ川崎プラザソル



貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151
<http://www.plazasol.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩5分



川崎市アートセンター



貸館案内 アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
<http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



新百合トウェンティワンホール

貸館案内 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350
<http://shinyuri21hall.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

Event Calendar

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □ = 休館日

2017.1

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1			
		Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed			
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日 1月1日(日・祝)～4日(水)	第1展示室																																			
	第2展示室																																			
	第3展示室																																			
川崎市教育文化会館市民ギャラリー(川崎区) 川崎区富士見2-1-3 TEL. 233-6361 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																				
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスクایتワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																				
川崎市市民ミュージアム(中原区) 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は閉館) ●年末年始休館 ～1月3日(火) ●[予告]改修工事に伴う休館 1月16日(月)～3月31日(金)	企画展																																			
	博物館展示室																																			
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクテイ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																				
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																				
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																				
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は閉館) 1/1(日・祝)～3(火)、1/10(火)～12(木)	企画展																																			
	常設展																																			
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																				

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展

2016川崎フロンターレ展

開催中～1月15日(日)

観覧料:無料

※一部2017年度川崎フロンターレ後援会
会員限定エリア

クラブ創立20周年を迎えた川崎市をホームタウンとするサッカークラブチーム『川崎フロンターレ』の2016年の戦いの軌跡を、オフィシャルカメラマンによる試合写真を中心に振り返ります。

■同時開催

「ふるん太くん似顔絵展」

「わたしの川崎フロンターレ」フォトコンテスト

主催:川崎フロンターレ連携・魅力づくり事業実行委員会



©KAWASAKI FRONTALE

第50回記念 かわさき市美術展

開催中～1月14日(土)

今回で50回を迎える川崎市で最も歴史のある公募展の入賞、入選作品を展示いたします。

主催:川崎市、かわさき市美術展運営委員会

後援:川崎市教育委員会

協賛:川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合

平成28年度「かながわの遺跡」展

かながわの最初の現代人

—旧石器時代のヒトと社会—

開催中～1月15日(日)

今から約3万8千年前に日本列島に最初にやってきた人々は、我々と同じ現生人類であることがわかっています。本展では、神奈川県内の発掘調査で出土した石器等の展示を通して、現代の我々と通じる旧石器時代の人々や社会に迫ります。



座間市栗原中丸遺跡出土
穂先形尖頭器

博物館展示

観覧料:無料

川崎の考古・歴史・民俗について通史で展示

■「近代・現代」特集展示 「川崎のくだもの」

開催中～1月15日(日)

■マンスリー展示

「初春マンスリー

江戸・明治時代のカレンダー」

1月4日(水)～1月15日(日)

伊勢暦など江戸時代までのカレンダーとともに、明治時代以降のカレンダーを展示し、旧暦から新暦への移り変わりをみていきます。



伊勢暦(天保8年)(部分)

イベント情報

地域連携事業「お正月deミュージアム」

川崎市内の市民団体「川崎おやじ連」と市民ミュージアムの連携事業です。凧作りなど、お正月の遊びや工作を体験できるブースを出店します。

- 日 時:1月8日(日)13:00～16:00
- 参加費:無料

この他にも上映・講座・イベント情報をホームページにてご案内しています。

工事休館のお知らせ
1月16日(月)～3月31日(金)

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL.754-4500 FAX.754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅ノクティ側バス約20分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】1/1(日・祝)～3(火)、1/10(火)、1/16(月)～3/31(金)
http://www.kawasaki-museum.jp/

●ホームページ、Twitter、Facebookにて情報発信中



ホームページ



Facebook



Twitter



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

常設展/開催中～2017年1月9日(月・祝)

「太郎の眼玉ダンジョン」展

企画展/開催中～2017年1月9日(月・祝)

「つくることは生きること 震災《明日の神話》」展

【つくることは生きること 震災《明日の神話》展・関連イベント情報】

◆岩井俊二監督作品『friends after 3.11【劇場版】』

日時:1月8日(日)14:30～16:45 会場:企画展示室

料金:展覧会観覧料のみ

岩井俊二監督が、震災以降に出会った人々、そして久しぶりに再会した友人と語る、東日本大震災に続いた福島第一原発事故後の「日本の未来」を綴ったドキュメンタリーを上映します。

一般900(720)円、高・大学生・65歳以上700(560)円、中学生以下無料。

* ()内は20名以上の団体料金

*企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります。

常設展/2017年1月13日(金)～2017年4月9日(日)

予告「みんなが見たい! 太郎セレクション 2017」展

2016年7-9月にアンケートを実施し「好きな作品」・「見たい作品」を答えて頂きました。合計508件の回答から「太郎セレクション2017」が選ばれました。岡本太郎の人気作品・代表的作品を一挙に展示します。話題のあの作品や隠れた人気作品など、どうぞお見逃しなく!



常設展示室内「赤の部屋」

企画展/2017年2月3日(金)～2017年4月9日(日)

予告 「第20回岡本太郎現代芸術大賞」展

本展は岡本太郎の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰する岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)における受賞作品及び入選作品を紹介するものです。今年で20回をむかえる本展を通し、美術のジャンル意識を超え、芸術の新しい可能性を探る意欲的な作品を紹介いたします。



第19回岡本太郎賞 三宅感(青空があるでしょう)



1970年 岡本太郎と《太陽の塔》

2017年1月13日(金)～2017年2月2日(木)まで

一般500(400)円、高校・大学生・65歳以上300(240)円、中学生以下は無料。

* ()内は20名以上の団体料金※常設展のみの開催期間は、上記の料金です。

2017年2月3日(金)～2017年4月9日(日)

一般700(560)円、高校・大学生・65歳以上500(400)円、中学生以下は無料。

* ()内は20名以上の団体料金

*企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります。

多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分

【開館時間】9:30～17:00(入館締切16:30)

【休館日】毎週月曜日、1/1(日・祝)～3(火)、1/10(火)～12(木)

http://www.taromuseum.jp

●ホームページ、Facebookにて情報発信中



ホームページ



Facebook



川崎市アートセンター kawasaki ART center

アルテリオ小劇場

しんゆりジャズスクエアvol.27

Jazz × Hawaiian

懐かしいハワイアンの名曲をジャズアレンジで! 寒い季節、ハワイアンのしらべとフラで暖かく会場を包みます。

〈予定曲〉ブルーハワイ、月の夜は、カイマナヒラ、アロハオエ、ワイキキ、南国の夜 など

2017年1月27日(金) 19:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】伊地知正憲(リーダー・ベース)
吉野廣蔵(スティールギター)
日下貴博(ウクレレ・ボーカル)
吉野麻衣子(ピアノ・ボーカル)
田辺充邦(ギター)
近藤幸子・清水朝子・遠藤初音(フラダンサー)

【チケット】3,500円(全席自由・税込)



伊地知正憲



吉野廣蔵



日下貴博



吉野麻衣子



田辺充邦



近藤幸子・清水朝子・遠藤初音

★サポーターズチケット★

「しんゆりジャズスクエア」をもっと大勢の方に楽しんで頂きたいと、セット券をご用意しました! ご家族や、ご友人とご一緒にぜひお越しください!

●2枚セット券 6,000円 ●4枚セット券 10,000円

※WEBでのお取り扱いはありません。

第48回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

2017年1月28日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】初音家左橋、桂米多朗 ほか

【チケット】一般 2,000円 / 学生 1,000円(全席自由・税込)

★大旦那衆チケット、プレミアムチケット★

年間10回の開催を予定している「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券をご用意しました。お一人で毎月通うことも、ご友人とご一緒でも、ご自由にお使い頂けます。

●大旦那衆チケット:10枚1組 12,000円 ●プレミアムチケット:4枚1組 6,000円

※有効期限は2017年3月公演までとなります。払い戻しは致しません。※WEBでのお取り扱いはありません。



初音家左橋



桂米多朗

〈2016年度の予定〉2/25(土)、3/25(土)

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

【お知らせ】終演後には演者との交流会を開催。ご希望の方は、公演当日申込。参加費1,000円。

貸館のご案内

アルテリオ小劇場では施設の貸出を行っております。演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態でご利用頂くことが可能です。基本形式193席の客席を有し、3室可動間仕切りの楽屋や工房(舞台の道具作成や楽屋代わりとしてもご利用可)もごございます。詳細はWEBまたは川崎市アートセンターまでお問い合わせください。

お問合せ:川崎市アートセンター TEL.044-955-0107 <http://kawasaki-ac.jp>



チケット取扱い:川崎市アートセンター

[窓口] 9:00~19:30(原則毎月第二月曜除く) [WEB] <http://kawasaki-ac.jp/th/>

[電話] 044-959-2255(9:00~19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

※ジャズスクエアの電話予約はマイタウンチケットセンターでのみお取り扱いしております。044-954-9990(月~金、10:00~18:00)

※学生チケットは窓口でのみ取扱い。要学生証提示。

※12/29(木)~1/3(火)休館

★お問合せ:川崎市アートセンター 044-955-0107 <http://kawasaki-ac.jp>

川崎市アートセンター
アルテリオ映像館



Photos by Philippe Hakim/Magnum Photos © COHEN MEDIA GROUPE/ARTLINE FILMS/ARTE FRANCE 2015 ALL RIGHTS RESERVED

**HITCHCOCK/
TRUFFAUT**
ヒッチコック/トリュフォー

2015年/アメリカ・フランス/カラー/1h20

監督：ケント・ジョーンズ

脚本：ケント・ジョーンズ、セルジュ・トッピアナ

出演：マーティン・スコセッシ、デビッド・フィンチャー、
アルノー・デプレシャン、黒沢清、ウェス・アンダーソン、
リチャード・リンクレイター

サスペンス映画の巨匠、アルフレッド・ヒッチコックにフランス・トリュフォーがインタビューし、彼のテクニックと映画理論を詳細に解説した現在も映画の教科書とされる伝説の本、「映画術 ヒッチコック/トリュフォー」。ヒッチコックの再評価を決定づけたこの本の貴重なインタビュー音源を交えながら、マーティン・スコセッシ等10人の名監督が独自の視点でこの本からの影響を語り、脈々と引き継がれる2人のDNAを映し出すドキュメンタリー。

1.21-2.3

A Letter to Mr.Hitchcock

フランソワ・トリュフォーはインタビューを申し込む為、アルフレッド・ヒッチコックへ愛と尊敬の念に溢れた一通の長い手紙を送りました。手紙の中で、インタビュー本出版の晩には、“あなたが世界中で最も偉大な監督であると、誰もが認めることになるでしょう”と宣言しました。アメリカでの評価にフラストレーションを募らせていたヒッチコックは、この若きフランス人監督からの手紙に涙を流し、快諾しました。

私自身も監督になり、あなたへの尊敬の念は弱まるどころか、より強く、その思いは本質的に変化しました。映画を愛している監督は多くいますが、あなたはフィルムそのものを愛しています。

そして、私はそのことについてあなたと話をしたいと思いました。

あなたへのインタビューを収録する機会をいただけませんか。

インタビューは約8日間、30時間を予定しています。そこから抜粋していくつかの記事にするのではなく、一冊の本にしてニューヨークとパリで同時に発行するつもりです。おそらく後に、世界中で発売されるでしょう。

フランソワ・トリュフォー

(宣伝用プレスシートより抜粋。校正・文責＝川崎市アートセンター 協力＝ロングライド)



©Navigator Film 2014

グレート・ミュージアム
ハプスブルク家からの招待状

2014年/オーストリア/カラー/1h38
監督・脚本：ヨハネス・ホルツハウゼン
出演：ザビネ・ハーク、パウル・フライ、パウルス・ライナー
芸術の都ウィーンが誇る、ハプスブルク家の歴代皇帝たちが蒐集した膨大な数の美術品を所蔵するウィーン美術史美術館。創立120年の節目の大規模な改装工事に2年以上にわたり密着し、普段は見ることのできない裏側とそこで働く人々の姿を丁寧に描いたドキュメンタリー。

1.4-1.20



©ALTER FILMS・TF1 FILM PRODUCTIONS・SND

ブルゴーニュで会いましょう

2015年/フランス/カラー/1h37
監督・脚本：ジェローム・ル・メール
出演：ジェラルド・ランヴァン、ジャリル・レスパール

パリで著名なワイン評論家となった長男はある日、実家の家業であるワイナリーが買収寸前であること聞き、故郷に戻り再建しようと決心する。疎遠になり、バラバラだった家族がワイン造りを通して再び心をひとつにしてゆく様子を描いた感動の家族ドラマ。

1.4-1.20



©この史代・双葉社/「この世界の片隅に」製作委員会

この世界の片隅に

2016年/日本/カラー/2h06
監督：片淵須直 原作：この史代
声の出演：のん、細谷佳正、稲葉菜月、尾身美詞、小野大輔

第2次世界大戦下、軍港の街として栄えた呉にお嫁にやってきた主人公、すずさんの過酷な状況の中でも前向きに生きようとする日常を描く。第13回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞したこの史代の原作を、片淵須直が映画化。主人公の声を女優・のんが演じる。

1.4-1.27



©2015 Tatsuzaki Hosono/Keiko Kusakabe/Tadahito Sugiyama/Office Keel

貌斬り KAOKIRI
戯曲「スタニスラフスキー探偵団」より

2015年/日本/カラー/2h23
監督・脚本：細野辰興
出演：草野康太、山田キヌヲ、和田光沙、金子鈴幸

実際に起きた美男俳優・長谷川一夫の顔斬り事件をモチーフにした映画を作ろうと集まったスタッフたちのそれぞれの思惑が錯綜する様子を描いた演劇公演を細野辰興監督が映画化。実際の舞台と映画が交わり合いながら物語が進む意欲作。

1.4-1.13



©雨にゆれる女_members

雨にゆれる女

2016年/日本/カラー/1h23
監督・脚本・編集・音楽：半野喜弘
出演：青木崇高、大野いと

別人として生きる男の前に突然現れた謎の女。お互いに本当の姿を明かさず、次第にふたりは惹かれあっていくが、隠された過去が明らかになると、哀しい運命が待ち受けていた…。アジア映画界の巨匠たちの映画音楽を手掛けてきた音楽家・半野喜弘の渾身の監督デビュー作。

1.14-1.20



©田澤文化有限公司

湾生回家

2015年/台湾/カラー/1h51
監督：ホァン・ミンチェン(黄銘正)
声の出演：本間岐理、ヤン・ホエイルー(楊惠茹)

戦前の台湾で生まれ育った約20万人の日本人、「湾生」たちは敗戦によって日本本土へ強制送還された。彼らが異境の地となってしまった故郷に里帰りし、戦争に引き裂かれたアイデンティティーを修復してゆく様子を追ったドキュメンタリー。

1.21-2.3



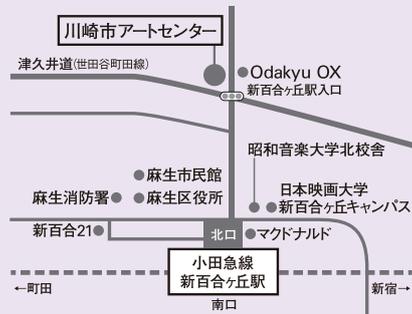
©2015 BlazHoffski / Dahl TV. All Rights Reserved.

ノーマ東京
世界一のレストランが日本にやって来た

2016年/オランダ/カラー/1h32
監督：モーリス・デッカーズ
主演：レネ・レゼビ、「ノーマ」スタッフほか

コペンハーゲンに本店を構える「ノーマ (noma)」の天才シェフ、レネ・ゼネビ。彼が日本で期間限定店を開店するために、本店を休業し、スタッフを全員引き連れ、食材探しから開店するまでに密着した記録。料理界の革命家と呼ばれ、世界中が称賛するカリスマシェフの料理哲学に迫る。

1.21-2.3



川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1
Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200
info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/
小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

- ◆映画のチケットは9:00より受付にて販売
- ◆自由席、整理番号順入場、立見不可



毎月

第三火曜日
のお楽しみ

2016

ラゾーナ寄席

1月17日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

- 会場…ラゾーナ川崎プラザソル
〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
- 出演…桂米多朗・やなぎ南玉(曲独楽)・初音家左橋・桂竹もん
- 入場料…全席自由2,000円(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)
- 予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル
電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151
E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



やなぎ南玉

真田強が撮えた多摩川の野鳥たち

川崎区誌研究会、川崎区図書館、川崎市文化財団が共同で毎年開催している川崎をテーマとした写真展。今年は、多摩川で生きる野鳥たちの写真を展示します。



多摩川に行こう。岸边や水辺では、多種多様な野鳥たちが私たちを迎えてくれる。多摩川はいまや、関東地方の河川のなかで、荒川に次ぐ、多様な野鳥相を見せているところだ。

その野鳥たちの躍動する姿を、水鳥の部80余件、陸鳥の部50余件にアレンジして、一挙に公開する。

真田強が、カメラで撮えた生き物たちの世界。

日時 2017年1月31日(火)～2月5日(日)
10:00～19:00(最終日は16:00まで)
入場は18:30まで

会場 アートガーデンかわさき
(JR川崎駅前東口徒歩2分・
川崎区駅前本町12-1タワーリパーク3F
☎044-200-1415)

入場無料

公益財団法人 川崎市文化財団

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)
TEL.044(222)8821(代表) FAX.044(222)8817
http://www.kbz.or.jp
平成29年1月1日発行

川崎市文化財団

検索

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

●印刷・製本／八幡印刷(株) TEL.044-542-2311